

男女共同参画社会の実現を考える

アクト21

information

VOL.
12
2015
February

あらかわ
Women's Power

《特無》

P. 2~6

アクト21 事業リポート あらかわパスクールin日暮里 — P. 7

アクト21 事業案内/コラム 滝村雅晴 — P. 8

編集・発行 / 荒川区立男女平等推進センター(アクト21) 2015年2月発行 / 登録(26)0052号-02
〒116-0012 荒川区東尾久5-9-3 アクト21 TEL 03-3809-2890 FAX 03-3809-2891
制作・印刷 / (株)ドゥ・アーバン



景気や雇用情勢の変化に加え、特に女性は結婚や出産・子育てといったライフイベントに応じて生き方を変えなくてはならないことがあります。

終身雇用の崩壊に伴って、働き方も多様化し、以前より増えてきたとはいえ、女性の管理職は諸外国に比べればまだ少なく、仕事と子育て・介護を両立できる仕組みも充分とは言えないのが現状です。

しかし、そんな状況だからこそ、周囲に翻弄されることなく、しっかりと自分を持って生きる事が一層大切になってくるのではないのでしょうか。

あらかわ Women's Power

今号では、荒川区で活躍する身近な女性たちにスポットを当てました。伝統工芸、雑貨店経営、ファミリー・サポート——それぞれの分野で力を発揮し、キラリと輝いている3人をご紹介します。



伝統工芸の道を引き継ぐ

江戸指物 渡辺 久瑠美 さん

三代目の道を選ぶ

私は2年前に服飾系の大学を卒業してこの世界に入りました。(※)江戸指物師の父(二代目)が年齢的にも最後の一人だろうと考えていたお弟子さんが辞めて、継ぐ人がいなくなったので、それなら自分が、と思ったんです。日本の文化や伝統には元々興味があったこと、また大学の講義で着物や織物、染色などの世界も後継者不足だと聞いて、他人事じゃないかと思ったことも影響しています。当時、父は「本当にやるの!?」と驚き、母は「いいんじゃない?」と私に選択を任せてくれる感じでした。

指物の魅力は、釘を使わずに作る所、華奢に見えて頑丈なところ、漆によって映える木目などだと思います。単に木を組み合わせるのではなく、凹凸を上手く活かし、見えないところまでとても手間がかかっています。一人前になるには何年もかかりますし、箸、手鏡、引き出し、姿見など品物の種類も多いので、とにかく経験を積まなくてはなりません。今は気持ちがいっぱいいっぱい、

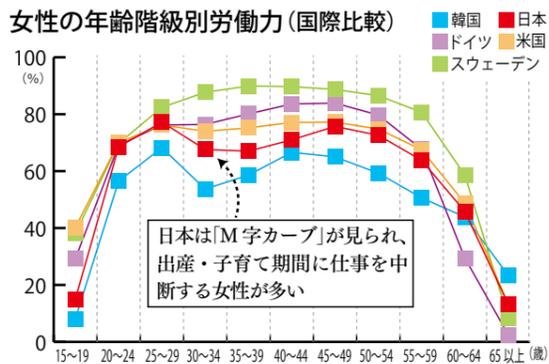
毎日必死に取り組んでいます。父は厳しく、親子といえども仕事中は「親方と弟子」。やはり普段とは違いますね。まずは教わったことをしっかりとできるようにしたいです。

父を目指し、日々精進

最近では伝統工芸の世界にも女性が

増え、特に江戸刺繍や友禅には多いそうです。指物ではまだ少ないですが、父のお弟子さんにも女性がいますし、私も「女性だから」ということは、特に意識せず自分らしくやっています。

これから自分なりの工夫もしてみたいですが、まずは、きちんと技術を身に付けてからです。展示会など



【引用】平成24年版男女共同参画白書



▲久瑠美さんの作品
手付き盆(手前は時代塗、奥はラッカー仕上げ)
▶綺麗に整理された道具の数々。日頃の手入れが作品に影響する



でもお客さんの方が詳しい時があって、「もっと勉強しなきゃ」と身につまざれます。将来は、父のようにお客さんの注文にしっかりと応えられる江戸指物師になりたいです。

昔、高校を出たら父の跡を継ぐと考えたことがありました。そうしていけばもう6年目か...と思わなくもないのですが、図面を描く時などは指物と服飾に通じるものを感じるがあります。大学は修業の前の勉強のようなもので、自分に必要な寄り道だったのだからと捉えています。

私のスタートは遅めでしたが、遅すぎたとは思っていません。やろうという気持ちがあれば、何かを始めるのはいつでも遅くないのだと思います。

※江戸指物…指物とは、釘などの接合道具を使わずに、木と木を組み合わせて作られた家具・建具・調度品などの総称。
江戸時代、徳川幕府は多くの職人を全国から江戸へ呼び寄せ、神田・日本橋界隈に大工町・鍛冶町・紺屋町などといった職人町を造って手工業を発達させた。その一つとして「江戸指物」が生まれた。

女性の元気を応援！ 商店街に癒やしと憩いのスペースを

雑貨店経営 今井 美穂 さん

地域に息抜きの場を

私が最初にお店を開いたのは故郷の香川県で、当時23歳でした。アパレル関係の会社を辞めた後、旅行でパリを訪れ、そこで出逢った安くて可愛いものを自分も届けていきたいと思ったのがきっかけでした。

その後、夫の転勤で東京に来ましたが、最初は専業主婦で友人もおらず、人間関係がゼロどころかマイナスになってしまったように感じました。子どもが生まれても、他のママたちがとても楽しそうに見えて「私のように悶々としている人はいないのかな……」なんて思っていました。でも、そのうち、実はみんな色々抱えているということが分かってきたんです。



▲お店で開催する「ミツロウを使って保湿クリーム作り」のワークショップは女性の憩いの場となっている

なと思い、子どもが幼稚園に入るタイミングで、またお店を始めることにしました。準備中に東日本大震災が起きたこともあり、開店までに多くの人の手を借りました。その時初めて「ママ」以外の自分で地域とつながった気がしました。

「今」を支えてくれる夫・子

振り返ってみると、今よりも専業主婦の方が大変でした。仕事から帰ってきた夫に「今日は何をしていたの？」と聞かれてイライラしてしま

たし、「家のことをちゃんとしなきゃ」と思っただけで、必死でした。子育ても初めてで、必死でした。今は、夫が私を社会的で色々なことに取り組んでいるところを尊敬し、応援してくれていますし、私も夫に好きなことをさせてもらっていることへの感謝を忘れないようにしています。

子どもは幼稚園に入ってから、私がお店を開いたことで生活がガラリと変わり、お互いにしんどい時期もありましたが、今はもう落ち着き、とてもしっかりしています。荒川区は子育ての環境が非常に整っていて助かります。

自分の可能性を広げて

お店を経営していると、普段の生活圏では会えない人に出会えて、自分の考え方が全てではないのだと知ることができます。

これからはもっと自分の興味を掘り下げて、フェアトレード(※)の商品や作家さんの手作り作品の取り扱いを増やしつつ、講座やワークショップ

も多く開催して、元気を癒やしを届けていきたいです。お店に来た人が「こんなことがやりたい」とか「目の前のことでいっぱいだったけど、私ができることはこれだけじゃない」と思って、自分の可能性を広げられるような社交の場にもしていけたらいいですね。

何かをやるうと思ったら、思い切って一歩踏み出せば、賛同してくれる人が集まって、新しい考え方、新しい人間関係が生まれます。自分の範囲で常識を作って悩んでいる人には、ちょっと視点を変えて、そんなに悩まなくていいんだと気づいてほしいです。沈んだ表情でお店の前を通っていく人にちょっと手を振るとか、そういうコミュニケーションがあるだけでも違ってくるのかもしれない。

今の女性は、色々なことを求められ、「全部できなきゃ」と思いつめがちな人も多いですが、「これがあるからいいや」と考えるとラクになり、色々なことを楽しんでやっていけるようになるのではないのでしょうか。



特集 ● あらがね Women's Power 4

※フェアトレード(公正取引)……発展途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することを通じ、立場の弱い途上国の生産者や労働者の生活改善と自立を目指す運動。

子育てをもう一度 ファミリー・サポートで地域を支える

ファミリー・サポート・センター協力会員地域リーダー

星野 千恵子 さん

地域の子どもたちと共に

近所の保育園でパートをしていた時でした。ご家族以外の方がお子さんをお迎えに来ることがあり「何だろう?」と不思議に思っていたら、ファミリー・サポート(※)という活動だと教えてもらったんです。それがきっかけで、自分にもできるかなと、2013年10月から協力会員になりました。

今は、多い時で週2日ほど自宅や先方のお宅でお子さんを預かっています。自宅に預かっているときは、夫がビニールプールを用意してくれたり、家族も一緒に子育てを楽しんでいることもあります。

保育をする時はお気に入りの本やおもちゃを持ち込んでもらうことが多いのですが、以前お母さんの仕事の都合で月2回日曜日に預かっていた男の子は電車が大好きで、孫たちと一緒にうちの電車のおもちゃで遊んでいました。この前その子と商店街でぼつたり会ったら、とても喜んでくれました。



ファミリー・サポートで保育園にお迎えに行くと、不安や人見知りや泣いてしまってお子さんもいます。でも、帰り道、名前をたくさん呼びながら「ほら、ニャンニャンがいるよー」なんて、途



▲お孫さん用に購入したオモチャは今も大活躍!

たくさんの方々の笑顔のために

私が子育てをしていた頃は、下町の良さが残っていてお互いに隣近所

の人たちと助け合っていました。今はお母さんたちも外で働いていますし、昔のように近所のおじさん・おばさんが子育てを助けることが少なくなってきたと難しいなと思うこともあります。でも、預かったお子さんに「また来てね」星野さん、なんでも来ないの?と言われると、とても嬉しいですね。お子さんのお母さんやおばあちゃんに「お願いして良かった」「これからもよろしくお願いします」と言われると、ファミリー・サポートをやっている良かったなと思います。せっかく縁があったのですから、その縁を大事にしていきたいものですね。お父さん・お母さんやお子さんが喜んでくれるのが一番です。

同年代の周りの友だちにも、自分に合う仕事を一生懸命続けている人が大勢います。私も健康第一を心がけ、これからはファミリー・サポートの活動を続けながら、近所の「おせっかいおばさん」でいられればいいのかなと感じています。

※ファミリー・サポート……保護者が残業や病気、冠婚葬祭等の時、保育園や学校への送迎や親が帰宅するまでの預かりなど、協力会員が育児をサポートするシステム。

パッキング for クリスマス

パパ料理研究家・滝村雅晴さんを講師に迎えて「ミネストローネ」「ガーリックトースト」「クリスマスケーキ」の3品に挑戦しました。愛情たっぷりのパパ料理で、家族みんなが素敵な笑顔に!

自分のお腹が空いたからではなく、家族のために作る料理それがパパ料理!!
by 滝村雅晴



この時間でこれだけのものができるんだ!と感動しました。今後は煮込み料理などに挑戦してみたいです。

家族のためにも、料理ができるようになってはと、思いました。これをきっかけにやってみたいです。

他のパパたちと交流したいと思って参加しました。みんなで料理を作って楽しかったです。



共働きの頃は料理をしていましたが、今日は久しぶりでした。たまにはやろうと思います(笑)。



—平成26年度荒川区地域子育て教室・男女共同参画推進講座—

あらかわパパスクール

毎年好評のあらかわパパスクールが、今年度も開催されました。会場は東日暮里のタヤけこやけふれあい館で、パパ・ママそれぞれが全4回の講座に参加。お子さんと一緒に様々なプログラムに取り組み、子育ての楽しみ方などを学びました。昨年12月20日に行われた第4回の様子をお届けします。

in 日暮里



ママと子どもでお店屋さんごっこしよう!

カラーセロファン「りんごあめ」や色画用紙と毛糸でできた「サンタのながぐつ」など、色々なものが並ぶお店屋さんが登場。お祭りのような雰囲気、子どもたちは大喜びでした。

パパスクールには以前から夫婦で参加しています。夫は「ワーク・ライフ・バランスの講座がとても良かった」と言っていました。

知り合いに勧められて参加しました。パパ料理、楽しみにしています。

タヤけこやけふれあい館は、たまに利用します。おかげで子どもは元気に育っています!



あらかわ Women's Power



子育てで地域を支援したい

起業したい

伝統工芸師になりたい

その夢をかなえるお手伝いをいたします!
区のサポート事業を活用ください。

心と技を未来に伝える「荒川の匠育成事業」

STEP 1 ~職人見習い~について
荒川区伝統工芸技術短期現場実習支援事業

【期間3か月】
伝統工芸技術の職人のもとで、職人見習いとして短期の現場実習を行います。その間、荒川区からの研修手当が支払われます。

STEP 2 ~弟子入り修行~について
荒川区伝統工芸技術新規継承者育成支援事業

【期間3年(最長6年まで)】
基本的にステップ1を終了した方の中から希望者を対象とします。審査後、伝統工芸技術を持つ職人さんのもとに弟子入りして、本格的に修行を行います。その間、荒川区から研修手当等が支払われます。

【問い合わせ先】
荒川ふるさと文化館 ☎3807-9234

あなたの創業を応援します!

区は産業競争力強化法に基づく創業支援事業計画を策定し、国から支援効果の高い計画として認定されています。相談事業やセミナーを中心に創業支援実績が豊富な支援事業者と区が連携して、創業に必要な様々なノウハウをお伝えします。

セミナーでは参加者のニーズに応じて、複数のコースを用意していますので、自分に合ったコースをお選びいただけます。また、セミナーを受講された方が創業する際には、税金等が優遇される場合がありますので、本セミナーを是非ご活用ください。参加費はいずれも無料です。

※来年度の開講につきましては、4月以降に経営支援課までお問い合わせください。

【問い合わせ先】
経営支援課 ☎3802-4807

「荒川区ファミリー・サポート・センター事業」 応援します。あなたの子育て! 未来を担う子どもたち地域みんなで育て愛

【協力会員の資格】
協力会員養成講座修了者、または保育士・幼稚園教諭・保健師などの育児に関する資格のある方。
※協力会員養成講座は、年4回行っています。

【利用会員の資格】
区内に在住・在勤されている方で、在園・在学児(概ね生後6か月以上小学校6年生まで)のお子さんがいる方。

【申込み・問い合わせ先】
荒川区ファミリー・サポート・センター事務局 荒川区南千住1-13-20 ☎3891-7938

アクト 21 事業案内

アサーティブ・トレーニング講座

開催予定 平成27年2月26日(木)、3月5日(木)・
12日(木) 全3回 19:00~20:30

場 所 アクト21

講 師 宮本恵氏(心理カウンセラー)

内 容

アサーティブとは、相手を尊重しながら自分の意思や気持ちを表現する方法です。アサーティブの基本的な理論や方法を学び、グループワークにより、自分も相手も大切にするコミュニケーション術を身につけましょう。

◆内 容◆

【第1回目】

「私もOK、あなたもOKのコミュニケーション」

【第2回目】

「自分の傾向を知ろう～言えないことを知る」

【第3回目】

「実践！ 伝えてみよう～わたしの気持ち」

アクト21交流のつどい

開催予定 平成27年3月7日(土) 10:00~16:00

場 所 アクト21

共 催 荒川区女性団体の会

内 容 アクト21で活動している団体と区民の方々が交流を深め、1日を楽しみ過ごしていただく催しを開催します。

◆講演会:(仮)ドイツ・スペインの児童施設視察報告

講 師:久保田光男 (ハイツ尾竹施設長)

内 容:充実したヨーロッパの児童施設の視察報告

◆手作りコーナー

①春の花でブーケ作り ②毛糸で作るコサージュ作り

◆男女平等推進団体による発表

荒川レクダンスグループ、和太鼓・道、モダンバレエエアロビクス同好会、太極拳・歩の会

◆男女平等推進団体による作品展示

お花を楽しむ会(フラワーアレンジメント)、コスモス会(パッチワーク)、すみれ会(ちりめん細工)、あくど俳句会(俳句)

◆このほか、荒川区国際交流協会によるお茶席、喫茶コーナー、バザー(手作り小物、福島市復興支援バザー)を実施します。



アクト21

(荒川区立男女平等推進センター)

〒116-0012 東京都荒川区東尾久5-9-3

☎ 3809-2890 FAX 3809-2891

●開館時間/9:00 ~ 22:00

●休館日/12月29日~1月3日および保守点検日など

●アクセス/都電荒川線、日暮里・舎人ライナー

「熊野前」駅より徒歩約3分

都バス「熊野前」より徒歩約1分



20分

簡単ごはん

鯛と生ハムのカルパッチョ

春のお祝い事や
パーティーにも
大活躍!

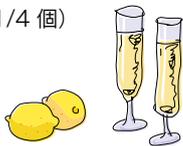
ホームパーティーに最適! 事前に作って冷やしておきましょう。
ベビーリーフ以外に、ルッコラ、パクチーもおススメです。
魚は、ひらめ、サーモン、帆立などでも美味しく
できます。

レシピ材料 (3~4人分)

鯛(1さく)
生ハム(50g程度)
ベビーリーフ(軽く1つかみ)
市販すりおろしにんにく
(大さじ1)

A

粗挽きこしょう(少々)
エキストラバージン
オリーブオイル(大さじ1)
レモン(1/4個)



作り方

- 1 鯛は斜めにそぎ切りして、皿にならべる。
- 2 市販のすりおろしにんにくをスプーンでぬり、生ハムを1枚1枚上のにせる。
- 3 ベビーリーフをのせ、Aをかけて出来上がり。

アト辛おとな味 粗挽きこしょう多め

子手伝い ならべる ぬる のせる



滝村雅晴 (たきむらまさはる)

パバ料理研究家・株式会社ピストロパバ 代表取締役・内閣府食育推進会議専門委員・日本パバ料理協会会長飯士 現在NHKラジオ第一「すっぴん!」水曜日「パバッとパバ料理」コーナーを担当。著書「ママと子どもに作ってあげたい パバごはん」マガジンハウス、「パバ料理のススメ 父親よ大志を抱け」赤ちゃんとママ社。京都出身・神奈川在住。川崎市立小学校的のPTA会長でもある。